

# 鳥獣害防止柵

## 鳥獣害防止柵とは

鳥獣害防止柵とは、鹿、猿、イノシシ等の野生鳥獣の侵入を防ぎ、作物への被害を軽減する為の柵です。各地域に出没する野生鳥獣によって規格等が変わります。

(次ページ詳細参照)

この柵の設置により作物を守るだけでなく、集落に居住している地域住民の安全も確保できます

## 鳥獣被害について

山梨県の被害状況は、令和5年が被害額139百万円であり、平成30年の151百万円と比較すると減少傾向にあります。更に被害の低減に努めていく必要があります。

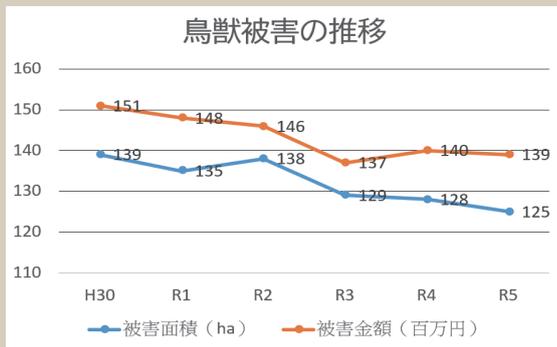
鳥獣被害は、営農意欲の減退、耕作放棄地の増加など、被害額として数字に表れる以上に地域に深刻な影響を与えています。被害対策については行政だけの取組には限界があるため、地域の方々と連携した対策を進めていくことが重要です。

## 鳥獣害防止柵の注意点

鳥獣害防止柵により、獣害等を完全に防除することはできません。公共道路や河川に柵を設置することができず、野生鳥獣の通り道となり通過されてしまうこともあります。また、電気柵においては倒木や雑草等の接触によりショートしてしまふ場合もあります。特に冬期は積雪により、樹木の枝が折れ電柵に接触してしまふケースが多くなります。

このようなトラブルを防ぎ、鳥獣被害の減退に努める必要があります。鳥獣害防止柵の効果向上と維持管理のために次の2点を実施すると良いです。

- ・猟友会と連携し、柵の切れ目に罾の設置。
- ・野生鳥獣による柵の損傷が無いが、電柵に雑草等が接触し漏電・ショートしていないか見回る。
- これらを実施することで、地域の鳥獣被害防止の効果が上がります。



出典：山梨県農政部農業技術課山梨県における鳥獣の農作物被害状況（H30～R5）

## 鳥獣害の減退に努める方の声

### 鳥獣被害対策実施隊 遠山 氏



富士吉田市、獣害対策支援センターと連携しながら活動を行っています。エアガンや動物駆逐用煙火（通称：花火）を使用して、集落に侵入してくる野生動物の追い払いをしています。市や支援センターと連携した獣害対策を行うことで以前より獣害が減少しました。また、活動前は、集落内で野生動物を時々見かけることがありましたが、現在は見かけなくなりました。

### 上大幡環境保全会 小林 氏



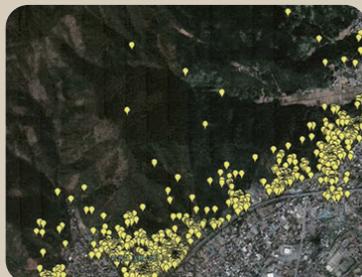
都留市上大幡地域で多面的機能支払交付金を活用し、「上大幡環境保全会」として活動をしています。活動内容は、鳥獣害防止柵が正常に稼働しているか点検を行うことと柵周りの草刈りを年二回実施しています。8年前に県営土地改良事業で柵の設置をしていただき、鳥獣被害を8割程度減少させることができました。被害を0にはできていないものの、とても助かっています。



動物駆逐用煙火



エアガン



アニマルマップ

アニマルマップは、獣害対策支援センターが実際に行っている取組。GPSを野生鳥獣に取付けて位置や移動の様子を地域住民に共有しています。

# 地域農業を守る!!

## かぞえもん



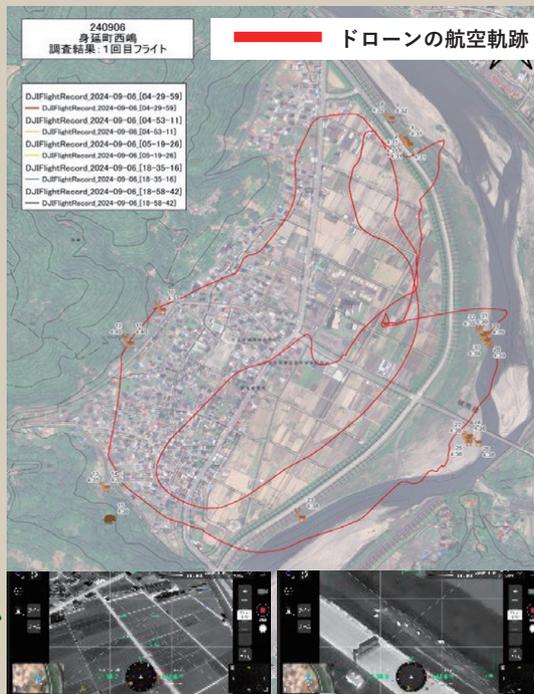
ICTによる捕獲技術で、AIが自動でゲートを開閉して捕獲します。捕獲効率は通常の罠より高く、複数頭の捕獲に有効な技術です。

## まるみえホカクン



ICTによる捕獲技術で、赤外線または温度センサーにより動物の接近を感じ取り、登録者にメール通知します。リアルタイム映像を見ながら遠隔操作で捕獲が可能です。

## ドローン&赤外線カメラによる探査

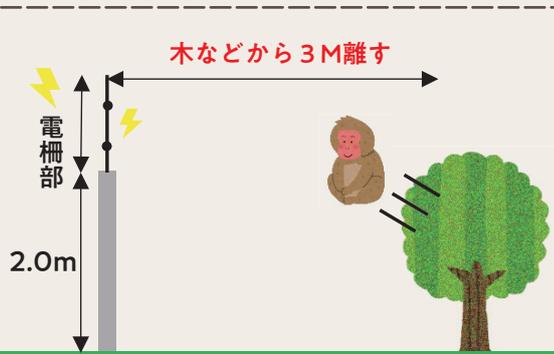
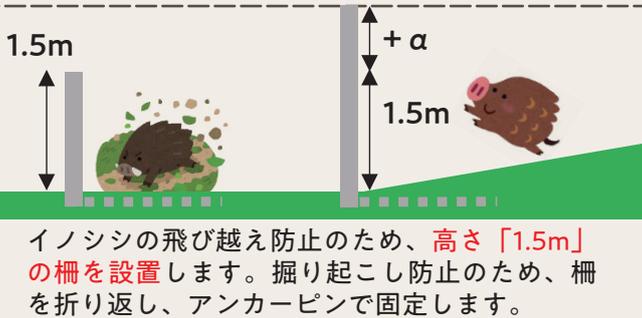


出典：合同会社甲斐けもの社中

ドローンに赤外線カメラを取り付け、上空から野生鳥獣を確認でき、生息位置、出没の多い場所を割り出すことができます。

## 鳥獣被害対策の最前線!!

鳥獣被害の対策は、日々進化しており、被害対策活動に従事している方の負担が軽減されています。近年では「スマート捕獲」というAIを駆使した取組により、野生鳥獣の探査・捕獲・処分が従来より軽減されています。各工程での「スマート捕獲」は左図のとおりです。



- ・柵の高さは「2.0m」
- ・柵上部に電線を設ける
- ・木から3M離す

## 鳥獣害防止柵の詳細!

鳥獣害防止柵は、主に猿、イノシシ、鹿に対応しています。各野生鳥獣が農地・集落に侵入する事を未然に防ぐ事ができます。※詳細は図参照。